

ゴンドラ

No.3

常設展の展示替え

柏原市立歴史資料館は、平成4年の開館から14周年となりました。開館以来、これまでも部分的に常設展の展示替えを行ってきましたが、このたび2箇所の展示替えを行いましたので、ご紹介したいと思います。

まず、高井田横穴群第3支群5号横穴の「船に乗る人物」の線刻壁画をレプリカ（模造品）で展示することにしました。線刻壁画で有名な高井田横穴群でも最も有名な「船に乗る人物」の線刻壁画は、保存状態が悪くなっており、年2回の公開日を除いて閉鎖しております。そこで、いつでもみなさんに見学していただけるように、レプリカを作製しました。横穴の入り口部分を実物大に再現し、実物を忠実に復元したレプリカで線刻壁画が体感できるように展示しておりますので、ぜひご覧になってください。

同じく横穴公園内にある高井田山古墳からの出土品を新たに展示しています。これまでも、ひのしと鏡は展示していましたが、このたび保存処理の終了した冑、金製の耳環、ガラス玉の首・手・足の飾り、須恵器など豪華な展示品です。

また、これまで月・火曜日・祝日であった休館日を平成17年10月より月曜日のみに変更しました。開館時間も午後4時30分までと延長しました。利用しやすくなりましたので、みなさまのご来館をお待ちしております。



線刻壁画のレプリカ



高井田山古墳出土品の展示

企画展のご案内

◎平成18年度秋季企画展「川をつくる―大和川のつけかえ工事―」

平成18年 9月20日～12月10日

恒例となった大和川のつけかえ工事を中心とした展示です。例年、郷土史を学ぶ小学4年生が多数見学に訪れています。今年度は、つけかえ運動の中心人物中甚兵衛の遺品だけでなく、新大和川堤防の発掘調査成果なども紹介し、現在の大和川がどのように造られたのかについて紹介します。

◎平成18年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち」

平成19年 1月10日～3月4日

これも恒例となっているちょっと昔の道具についての展示です。小学3年生を中心に、こどもには珍しい、大人にはなつかしい道具を多数展示します。今年度は昔のこどもたちの生活をテーマにした展示を企画しています。

◎平成18年度春季企画展「江戸時代の柏原」

平成19年 3月24日～6月10日

資料館に寄贈・寄託された江戸時代の柏原村にかかわる絵図や文書などを展示し、江戸時代の柏原村のようすについて紹介する予定です。

※タイトル・期間等に変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。



—おしらせ—

◎横穴特別公開

歴史資料館に隣接する史跡高井田横穴公園には、1400年前のお墓として利用された横穴がたくさんあります。年に2回、これらの横穴を公開し、職員が解説しています。次回は平成18年10月21日（土）を予定しています。「船に乗る人物」の壁画はこの日以外は見学できませんので、ぜひお越しください。また、それ以外の日でも、グループで事前に申し込んでいただければ、横穴の案内をしますので、お気軽にご相談ください。

◎12月に「しめなわづくり」、2月に「わらぞうりづくり」を計画しています。詳しくは歴史資料館までお問い合わせください。

—刊行物のおしらせ—

○『平尾山古墳群を探索』平成18年度夏季企画展展示図録 300円

夏季企画展に伴う図録。平尾山古墳群の概要と周辺の高井田古墳群の紹介。一部カラー。28ページ。

○『船橋遺跡採集資料』柏原市の考古資料3 500円

船橋遺跡で採集され、当館に寄贈された資料を紹介する資料集。38ページ。

○『柏原市立歴史資料館館報』18 600円

平成17年度の当館の活動報告と3本の資料紹介等を掲載。63ページ。

企画展を終えて

★平成15年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち—おかあさんの1日—」

平成16年1月14日～3月5日

★平成15年度春季企画展・大和川付け替え300周年記念企画展Ⅰ「絵図に描かれた大和川」

平成16年3月24日～6月13日

★平成16年度夏季企画展・大和川付け替え300周年記念企画展Ⅱ「大和川を掘る」

平成16年7月10日～8月29日

★平成16年度秋季企画展・大和川付け替え300周年記念企画展Ⅲ「つけかえから300年」

平成16年9月22日～12月5日

★平成16年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち—火と水—」

平成17年1月12日～3月4日

★平成16年度春季企画展「考古学入門」

平成17年3月23日～6月12日

★平成17年度夏季企画展「離宮—竹原井頓宮と智識寺南行宮—」

平成17年7月9日～8月28日

★平成17年度秋季企画展「流れ流れて大和川—つけかえ工事の前後—」

平成17年9月21日～12月4日

★平成17年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち—みる・きく—」

平成18年1月11日～3月5日

★平成17年度春季企画展「戦争の記憶—2000年の歴史—」

平成18年3月25日～6月11日

★平成18年度夏季企画展「平尾山古墳群を探る」

平成18年7月8日～8月27日



平尾山古墳群出土単龍環頭大刀

活動の記録から

企画展に伴って年数回の文化財講演会を開催した。また、平成16・17年度は「東高野街道を歩く」をテーマにした文化財講座を年間10回程度開催した。さらに古文書講座を年10回程度開催している。これは、当館所蔵の近世文書を読んで内容を理解するというものである。体験教室は「しめなわ作り」と「わらぼうり作り」を毎年1回ずつ開催している。また、「むかし体験企画」として、5月に高井田横穴の公開と勾玉作りや土笛作りなどの体験事業を実施している。



しめなわ作り

新収資料の紹介

当館には、毎年多数の資料が寄贈・寄託されています。これらの資料は、大切に保管し、少しずつでも整理し、活用していきたいと考えています。今回は、その中から船橋遺跡採集資料を紹介します。

船橋遺跡は縄文時代以来の大集落遺跡ですが、宝永元年（1704）の大和川の付け替えによって遺跡が河床となったため、その後の出水などに伴って遺跡が河川敷きに露呈されるところとなり、多数の遺物がこれまでに採集されてきました。また、心ない人たちによる盗掘も繰り返されました。それらの資料の一部を、これまでも柏原市に寄贈していただきましたが、このたび寄贈された今町の寺田信氏寄贈資料は、資料の採集位置を記録に残されているなど資料としてその価値の高いものでありました。写真の把手付コップ形土器は細かい文様をもつ珍しい土器です。また、弥生時代から古墳時代にかけての土器は良好なものが多く、日本各地から持ち込まれていることがわかりました。この寺田氏寄贈資料にこれまで整理のできている船橋遺跡採集資料を加え、

『船橋遺跡採集資料』という資料集（500円）として刊行しましたので、ご活用ください。このように、お預かりした資料は責任をもって整理いたしますので、みなさんも何か歴史的な資料をお持ちでしたら、資料館までご連絡ください。

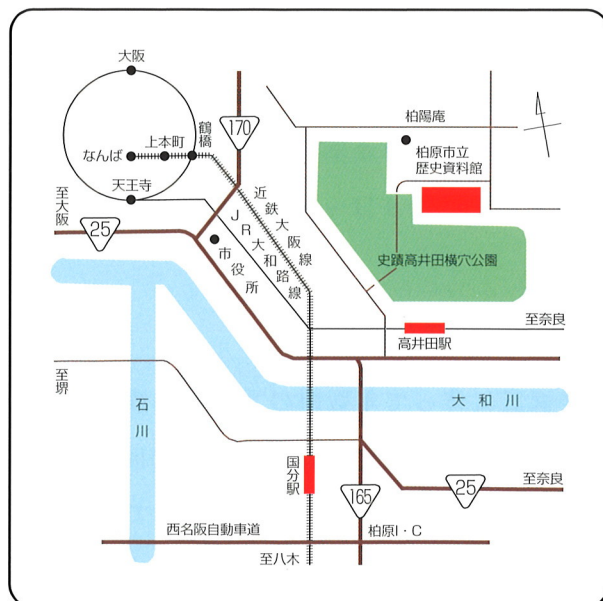


船橋遺跡出土把手付コップ形土器



—ひとこと—

ゴンドラ第2号を刊行して以来、2年半が経過しました。この間に何度も原稿を用意したのですが、諸般の事情のためなかなか刊行できず、残念に思っておりました。ここによく第3号を刊行でき、ホッとしております。刊行期間があいたこともあり、単純な紙面になってしまいましたが、今後はみなさんの感想を反映し、少しずつ充実させていきたいと思ひます。ゴンドラのようにゆったりと。



柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日（祝日でも休館）、年末・年始

開館時間 午前9時30分～午後4時30分 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 TEL 072-976-3430

<http://www.city.kashiwara.osaka.jp/shakaikyoiku/bunkazai/kan.html>